

●提案

動議：2015年度予算案（議案書9頁）の修正を議題とする。

提案者：第20期運営委員有志

1 第3号議案の予算案費目「HP維持管理費」費目の削除。

提案理由：ホームページの運用実績は不十分で、過去の出費に見合っていない。また、会員が会費供与を以て運営執行権を預託した役員の説明責任が果たし得ない（会員から供与した会費の使途を明確に説明できない）費目の予算計上は認めるべきでない。

2 CP紙発行の費用¥100,000を¥50,000とする。

提案理由：広報紙は、電子媒体での配付に主力を移すべきである。他学会でも大勢はその方向に向かっている。印刷、郵送は特殊な事情の場合に限るべきである。

3 「HV小委員会活動費」を¥80,000に増額し、名称を「小委員会等活動費」と改める。

提案理由：ヒアリング・ヴォイシズの研修は、長年にわたり学会の活動として行なってきたが原法を紹介、適用する域を出ず発展に乏しい。過去の心理学を見直す契機を孕む重要な着眼を含む活動なので、理論的な発展や実践法の自主的展開が望まれるところである。このため、予算を増額するとともに、ヒアリング・ヴォイシズの原法の枠を越えて、他の発想、活動との多彩な連携を図る必要がある。（大連大会での比較民俗学会との協力もこのためであった。）

4 次の付帯決議を挿入する；

<運営委員会活動費を中心に効率化を謀り、浮いた費用により学会活動の発展と改善のため、柔軟に補正予算を組む必要がある。>

提案理由：学会運営の混乱により、会費収入が激減している。にもかかわらず、運営態度が旧態依然では、なおさら学会の危機は深まるであろう。ことに運営委員会の会議は、参加者に責任の自覚が乏しく、準備不足が常態で、必要な情報のないまま徒らに持論をくり返したり、決定済みの項目を蒸し返して気付かないなどの非効率が起こりがちである。

以上